

チャレンジの 指針

成功は失敗を越えた先にある。
だからこそ恐れるな。
夢に向かって頑張る姿は、
いつの時代も美しい。

土田さんが活動する「奥越ほやほやクラブ」は、35歳以下の農業従事者で構成される正会員のほか、業種・年齢を問わず、農業に興味がある人が準会員として所属する。「メンバーである税理士の方には経営のアドバイスをもらったり、私たちには当たり前のことが、逆に驚かれることもあって、良い刺激を受けながら活動しています」。

クラブでは収穫・農家体験などを通じて、地元農業への理解と普及を進めているが、視点の違いが次なる展開のヒントになることもある。

現在、クラブでは奥越の特産物であるサトイモの、収穫時に捨てられる頭(かしら)を活用した家庭料理を研究中。この研究成果を青年農業者クラブの県大会でプレゼンする予定だ。

農業は意外に孤独な労働。このような交流の場を、若い農業従事者にこそ知ってもらいたいと話す。「転職して就農する方も多く、いろいろな考えを持つ人が増えてきました。これまでの農業は、良くも悪くも、自分がすべて」の自己責任・完結型。自分たちの世代は情報交換ツールも発達し、地元だけでなく多くの人とつながることができます。1人では無理なことも何人か集まればできる。これからの農業は可能性とチャンスがいっぱいあると思っています」。

会社組織の立ち上げや農業者による大イベントを実施したい。土田さんの頭には次のステージが描かれている。



クラブ自慢のドラム缶で焼きあげるピザはイベント等で大好評。食育の一環として地元野菜を使ったピザ作りを実施



土田さんの畑で地元の保育園児が芋掘り体験。クラブではメンバーが作る農作物を通じ、さまざまな体験を実践中

若い農業者たちの活動の幅を広げ、
農業の新しい可能性を見出したい

奥越地区青年農業者クラブ
「奥越ほやほやクラブ」役員

つち だ や つぐ
土田 弥嗣

勝山市出身。福井県立大学生物資源学部生物資源学科を卒業後、家業の「土田農園」を継ぎ6代目となる。「野菜ソムリエコミュニティ福井」では副会長を務めるなど、さまざまな活動を通じて農業の発展・普及のための情報発信を行っている。ふくい若者チャレンジクラブ奥越地区役員も務める。



チャレンジするって
素晴らしい!

ホームページ・facebookページ
「ふくい若者チャレンジクラブ」から
イベント情報などを発信中!

仲間をみつけて新しいことにチャレンジ!

「ふくい若者チャレンジクラブ」メンバー募集中

あなたも「ふくい若者チャレンジクラブ」に登録して、メンバーと新しいことを始めてみませんか。子どもたちの自然体験や、街なかでの音楽ライブやアートイベントの開催など、いろんな分野で活動する若者やこれから新しく何かを始めたいと思っている若者の活動を応援します!

詳しくはこちら ▶

事務局 福井県総務部男女参画・県民活動課 若者チャレンジ支援室 TEL:0776-20-0237
youthchallenge@pref.fukui.lg.jp FBページ「ふくい若者チャレンジクラブ」